



議会

かわら版

~ gikai newspaper ~



No.149
2026

11



TOPICS

一般質問
審議結果
主権者共育 / 議会傍聴

防災訓練 / 議会日誌 / 議長のひとりごと / ラジオ出演
意見交換会など



岩見沢市の財政戦略の「見える化」と市民参加型の事業推進について

Q 岩見沢市の高い経常収支比率が、新規事業に与える影響について

A 経常収支比率の算定には、これまでの除排雪事業や子ども医療費の無料化、スマート農業など多くの新規事業が織り込まれており、新規事業の立ち上げが極めて限定的との指摘はあたらない。令和7年度は94.7%と4.8ポイント改善しており、今後も財源確保と歳出抑制に取り組み、持続可能な財政運営を堅持する。

新緑風会
松本一郎 議員



Q プレミアム商品券の結果の分析・検証、未使用分の活用について

A プレミアム商品券の販売実績は10万セットのうち7万8,264セットを販売し、78.2%となった。プレミアム率の引き下げや物価高の影響等で販売実績が下回ったと考えている。今後、利用実績や利用店舗、業種別の利用状況を整理し、経済波及効果を検証する。再募集や未使用分の活用は考えていないが、物価高騰対策の財源として活用を考えている。



岩見沢市の上下水道施設の安全性と今後の維持管理について

Q 災害への備えについて

A 水道施設の8か所全ての配水池で耐震性能を確保し、主要な配水池には緊急遮断弁を設置している。また、基幹管路の耐震化率は29.2%である。下水道施設は計画に基づき改築更新を進め、重要施設に接続する管路も国の補助事業を活用し計画的に耐震化を進める。市民生活への影響を最小限に抑えるため、災害時の応急給水体制も整えている。

優馳会
新井優也 議員



Q 今後の上下水道事業の方向性について

A 本市の上下水道事業でも、ヒト・モノ・カネの問題が喫緊の課題であり、積極的に官民連携を進めている。また、施設の統廃合や維持管理費の削減を進めており、今後も施設の統廃合や最適化のほか官民連携も積極的に進め、より効率的で持続可能な経営基盤の確立に引き続き積極的に取り組んでいく。



新病院の工事請負代金を増額変更しなかった場合の全体事業費の抑制について

全体事業費の中での抑制順位について

Q 新病院建設工事以外の事業費を抑制することによる影響について

A 新病院建設工事の契約書にはスライド条項が規定されている。現時点で施工者からスライド条項に基づく請求はなく、適用するスライド方式のほか、基準日や残工事量などが特定できないため、市側では具体的な影響額を試算していないが、契約後の労務単価や建築物価指数などの上昇を勘案すると、今後請求されることが想定される。仮にスライド条項に伴い工事請負代金を増額変更する場合は、新病院建設工事以外の事業費の抑制も検討するが、優先順位を付けるというより全体事業費の中で新病院の運営に支障が出ない範囲で抑制に努める。特に医療機器は、外来、病棟、検査など各部門の運営に必要な数量や仕様などを精査し、開院に合わせて更新するものと現病院から移設して引き続き使用するものを適切に区分する必要がある。

新緑風会
河合清秀 議員



一般質問

市政の ここが聞きたい！



9月定例会では9人の議員が登壇いたしました

二次元バーコードから各議員の質問をYouTubeで視聴することができます。
スマートフォンなどで読み取り、是非ご視聴ください。



いわみざわ次代会議
平野義文 議員



道路交通法施行令の改正について

Q 一般道路の法定最高速度の引下げについて

A 令和8年9月1日施行の道路交通法施行令の改正は、生活道路の歩行者の安全確保を目的として全国一律に適用されるもので、本市農村部のように住宅が少なく見通しの良い道路でも、中央線が設置できない車道幅員5.5メートル未満の路線は、最高速度が時速30キロメートルとなる。該当する市道は463キロメートルで、市道総延長1,098キロメートルの約42%を占める。市民への周知は、岩見沢警察署をはじめ、関係団体と連携し、ホームページ、ポスター掲示、交通安全教室や街頭啓発を通じて努める。最高速度の指定は北海道公安委員会が行うため、市に独自の速度規制権限はないが、車道幅員や交通量など実勢を踏まえ、実情と乖離する路線があれば警察へ情報提供し、今後も市道における交通実態の把握に努める。

バス路線の冬の除排雪について

Q バス路線廃止後の対応について

A 除雪は明確な数値基準を設けていないが、幹線道路は原則2車線、生活道路も可能な限り広く幅員を確保している。排雪はパトロール結果や降雪予測等を勘案し実施し、バス路線は支障が生じる場合、優先的に作業を行っている。幌向地区のバス路線は優先度を下げるが、引き続き排雪計画路線として適宜拡幅作業を実施する。

日本共産党議員団
山田靖廣 議員



学校給食費用について

Q 中学校の給食費用の無償化について

A 中学校の給食費無償化は、全国どこに住んでいても同様の支援を受けられるよう、国の制度として一律に実施されるべきと考えており、国で検討が進められているため、市独自で先行実施する考えはない。なお、市独自で実施するには年間約1億3,000万円を超える財政負担が生じると試算している。



民優会
大和 勝 議員



高齢者・障がい者等に関わる計画の整備について

Q 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における現状と次期計画策定における今後の方向性について

A 第9期介護保険事業計画は、サービス給付費が計画値の9割以上となっており、概ね計画どおりに進捗している。認知症施策や介護予防事業も、認知症当事者や家族への支援として交流の場や通いの場への支援を行うなど、概ね計画に沿って実施している。次期計画の策定にあたっては、既に計画の概要や骨子案について説明を終えたところであり、

今後は各種調査の分析や各種事業の検討を行うとともに、国の「地域包括ケア見える化システム」を活用して適切なサービスを推計、年内に素案を作成し、パブリックコメントを経て令和9年3月の策定を予定している。



公明党
齊須正友 議員



防災・減災について

Q 自主防災組織について

A 当市の自主防災組織率は本年8月末で69.6%となり、平成28年度の24.9%から3倍近く上昇しているが、近年は横ばいである。課題は中心となる人材の確保・育成や地域内の防災意識の温度差が挙げられており、町会連合会や町会・自治会と連携し、状況把握に努めるとともに、組織率向上に取り組んでいく。

Q 防災マップの周知・啓発について

A 令和6年6月、洪水ハザードマップを1冊にまとめ、内水ハザードマップを追加した「防災マップ」に改訂した。ホームページやメールサービス、公共施設での配架、町会・自治会等への配付などで周知・啓発しており、引き続き様々な方法・機会を捉え、広く市民への周知・啓発に努める。



市民クラブ
枝廣晴基 議員



くりさわ学舎の新校舎の基本設計と今後の学校づくりについて

Q 義務教育学校としての9年間の学びと児童生徒・地域住民の意見反映について

A 「基本計画」に基づき、9か年を通じた教育課程や学年段階の区切りに対応するとともに、異学年交流が生まれる空間を確保するなど、系統性・連続性のある教育活動を実施する。また、発達段階や体格差、安全性にも配慮し、教室等の配置や児童生徒の動線、交流スペースなども検討している。なお、基本設計の段階でも児童生徒や地域の皆さまと意見交換を行う予定である。

Q 今後の岩見沢市における学校施設整備の先例とする考えについて

A 令和12年に供用開始定の新校舎は、9か年の学びに加え、図書館やこども館の機能を集約し、学校教育と地域における学びや交流を一体的に支える施設となる。くりさわ学舎での取組や整備の考え方は、一つのモデルになると考えており、地域に長く親しまれる施設となるよう、丁寧に校舎整備を進めていく。



日本共産党議員団
上田久司 議員



基幹産業の農業を守る取組について

Q 昨年の米価高騰から一転、今年の米価暴落での農家の状況等について

A 本年は民間在庫の増加などを背景に、ホクレンの概算金も「ななつぼし」などが前年産と比較して大幅に低い水準となった。米価の下落と農業生産資材の高騰が重なり、農業者の経営環境は厳しい状況にあると認識している。国の米政策を注視し、JA等と情報共有を図り、米の需給や価格動向を把握し、農業施策につなげていきたいと考えている。

Q 離農が進むのではと心配されるが市としての取組は

A 農業者が安心して営農を継続できる環境整備が重要である。関係機関・団体と連携して国への働きかけを行い、現場の声を把握しながら、複合経営の推進、農作業の効率化・省力化、生産コスト削減、基盤整備事業による圃場の大区画化など、農業経営の基盤強化に向けた各種施策を進める。

令和8年第3回定例会（9月7日▶9月18日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第79号	岩見沢市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
議案第80号	令和8年度岩見沢市一般会計補正予算について（第2号）	//
議案第81号	令和8年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について（第1号）	//
議案第82号	令和7年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	閉会中 継続審査
議案第83号	令和7年度岩見沢市病院事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	//
議案第84号	令和7年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//
議案第85号	令和7年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//

令和8年第3回定例会（9月7日▶9月18日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第86号	岩見沢市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第87号	岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について（※議員定数を20人に変更する議案）	//
議案第88号	岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について（※議員定数を21人に変更する議案）	議決不要
意見書案第8号	国土強靱化に資する社会資本整備等について	原案可決
意見書案第9号	米国産生馬鈴しょの輸入解禁反対等について	//
意見書案第10号	持続可能な学校の実現と子どもたちのゆたかな学びの保障について	//
意見書案第11号	「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化について	//

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第3回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 岩見沢市における国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について
- 備蓄米水準の早期回復を求め、生食用ジャガイモの輸入解禁を行わないことを求める意見書について
- 米国産生馬鈴しょの輸入解禁反対等を求める意見書について

各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

会 派 名		市民クラブ				新緑風		民優		公明	共産	一	次	優								
議 員 名		伊澤幸信	武田貞行	木村光宏	枝廣晴基	坂井秋子	豊岡義博	野尻清透	石黒武美	河合清秀	太田博之	松本一郎	大和勝	日向清一	坂井照美	齊須正友	猪口満雅	上田久司	山田靖廣	峯泰教	平野義文	新井優也
議 案 名																						
議 8 7) 岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	一	×	○

議案に対する討論

議案第87号 岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について

賛 成
高齢化社会の中、当市は特殊出生率の低下、人口減が続いており、財政の収支不足も想定されている。議員定数等検討委員会で議論を重ねた結果、21名が妥当であるという答申がなされたが、ウェブアンケート等での市民の意見は厳しく、また検討経過での多角的なデータは20から21の範囲を示しており、各派代表者会議で熟議されたのち20人として議案提出された。現在の議会機構を維持しつつ、市民の立場を十分に考慮し、多角的な意見を真摯に受け止めた判断であることから、20人とすべきである。

議案第88号 岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について

賛 成
議員定数等検討委員会で人口だけでなく、地理的条件、他都市との比較、市民意見、議会費、議員の成り手不足、選挙における競争性、議会の監視機能、政策形成機能、多様な市民の声を反映する機能など、様々な角度から検討を重ね、結果として21人という数字が示された。考えを変えるのであれば、積み上げた検討結果を変更する理由を市民に説明する責任があり、現時点で変更しなければならない事実や、新たな分析が示されてはいないと受け止めていることから、21人とすべきである。

議案87号及び議案第88号 岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について

反 対
議員定数削減を求める声が市民にあることは聞いているが、働かない議員はいらないということと定数削減は別のものであり、数の問題ではなく、質の問題である。また、財政難という理由に対しても、定数を減らして財源を生み出すのではなく、どうやって市民の暮らしを財政が厳しい中で生み出していくかを市長に提案していくことで、議員としての役割を果たしていくことこそが必要。議員として、市民の願いに応えるために大いに奮闘していかなければならず、そのためには現有議席が必要であることから、22人のままとすべきである。

岩見沢市の こんなことが決まりました！

第3回
定例会

会期 12日間 9月7日～18日

令和8年度補正予算（一般会計・特別会計）	2件	原案可決
条例の一部改正 ・ 岩見沢市学校設置条例の一部改正 ・ 岩見沢市議会議員定数条例の一部改正 ・ 岩見沢議会委員会条例の一部改正	3件	原案可決
令和7年度決算の認定（一般会計・特別会計・企業会計）	4件	閉会中継続審査 ※決算審査特別委員会へ付託し、 閉会中に継続して審査を行います

PICK
UP 1

議案第79号
岩見沢市立学校設置条例の一部改正について

義務教育課程の柔軟で効果的な教育活動を実践することができる環境を整備するとともに、北村地域における学校運営の持続性の確保を図るため、岩見沢市立北村小学校及び北村中学校を統合し、新たに義務教育学校である「岩見沢市立北村学園」を設置するために条例を改正（令和9年4月開校予定）

*北村地域に市内2校目となる義務教育学校が誕生します。

PICK
UP 1

議案第80号
令和8年度岩見沢市一般会計補正予算について（第2号）

物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい令和8年度住民税非課税の高齢者、障がい者、ひとり親世帯に対して、生活・暮らしの支援を行うため、1世帯あたり1万円を給付する「高齢者・障がい者・ひとり親世帯物価高騰緊急生活支援事業」を行うための予算の補正など

PICK
UP 3

議案第87号及び第88号
岩見沢市議会議員定数条例の一部改正について

現在の議員定数の22人を20人に変更する議案第87号と、21人に変更する議案第88号が提案され、起立採決により議案第87号が可決されたため、次回改選時から議員定数は20人となります

議長から諮問を受け、議員定数等検討委員会では、委員会8回、広報広聴委員会との合同委員会3回、市民との意見交換会開催に加え、YouTubeでの動画公開やWebアンケートも実施しながら議論を重ねました。その結果、21人が妥当との結論に至り議長へ答申しましたが、岩見沢商工会議所からのご意見や、各派代表者会議での再検討を経て、定数を20名とする議案と21人とする議案が提出されました。



主権者共育を 実施しました



8月24日、明成中学校3年生49名が議場に来られ、普段なかなか入ることのできないバックヤードの見学を行ったり、市議会の仕組み、実際の議員の活動について学習する機会となりました。後半は、4名の生徒さんから質問をいただき、議員個々が考えた内容で答えさせていただきました。

今年度で3年目となる主権者共育。市内全中学校及び義務教育学校で実施予定ですが、我々議員も生徒の皆さんと共に学び合える機会として取り組んでまいります。



～こんな質問をしてくれました！～

市民を代表する市議会議員を務めるにあたり心がけていることは？



これまで活動する中で大変だったことと主権者として中学生ができることは？

意見が分かれた時、ある程度みんなが納得できるように意識することは？



今後、岩見沢をどんなまちにしたいと考えているのか？

感想を聞いて みました！

私たち若い世代の意見も市議会を通じてまちづくりに活かせるかもしれないと感じました。

今回、自分のためになる話が聞けたので、機会があれば議員の皆さんと話してみたいと思った。

議員は、年齢の高い男性が多いと思っていたが、若い人や女性の方もいてどんな人でもなれるとわかった。

議長の仕事がとても多く驚いた。特に、道内外での仕事や議員をまとめる仕事など興味を持った。

市議会の状況やどういう会議の仕方なのかがイメージできて、すごく良い経験になりました。

多様な考えや経験をもって議論し、議員として心がけていることが沢山あるところが興味深かった。

議場に来る前の印象は、「堅苦しい」「難しそう」などの意見が多かったのですが、実施後には、「思ったより身近である」など、印象が変わった生徒が多いように感じました。

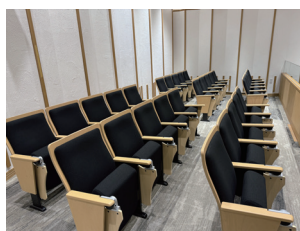
また、議員と他の仕事の兼業が可能である部分に「興味深い」という声も多数ありました。

岩見沢市議会では年に4回（3月、6月、9月、12月）定例会が開かれ（必要に応じて臨時会が開かれます）、私たちの生活に関わる大切なことを審議しています。

議会ではどのような議論が行われているのかを知り、考える機会として、ぜひ直接議場にお越しいただければと思います。傍聴をご希望の方は、開催日当日に市役所4階までお越しください。



受付票に必要事項を記入後、受付箱へ投函



傍聴席は30席あります

市議会を 傍聴してみませんか？



第8方面岩見沢市民生委員児童委員協議会（日の出、かえで町方面）より15名が、9月15日（火）の本会議を傍聴に議場にお越しくださいました。

○団体での傍聴をご希望の場合○

事前申し込みをいただく必要がございますので、お早めにお申し出ください。

詳しくは議会事務局までお問合せください。

防災訓練を実施

岩見沢市議会では、災害時における市議会と事務局の体制を検証・点検し、より実効性のあるものとするとともに、災害に対する危機意識を高める観点から、定期的に防災訓練を実施しています。

今回は、市内において全市的水害が発生したと想定し、9月8日（火）に通信訓練を行いました。

訓練開始後、まず各議員が自身や家族の安全確保、安否確認、自宅周辺の被災状況の情報収集を行いました。その後、事務局より市議会災害対策会議設置の連絡を行い、各議員は安否、居所、連絡先の報告と、自宅周辺等の災害状況の画像を送信。

正副議長、議会運営委員会委員長が出席のもと、市議会災害対策会議を開催し、収集した被災状況等の情報を共有、そして会議内容を各議員へ通知し、訓練を終了しました。

防災・災害



議長のひとりごと

令和9年4月の市議会議員選挙から、議員定数を現在の22人から20人とする条例改正案が可決されました。議員定数等検討委員会では約1年間にわたり検討を重ね、「概ね21人が妥当」との答申が示され、付帯意見として20人、22人とする意見も示されました。答申を重要な判断材料としながら、人口や市域の広さ、議会の役割、議員のなり手などを総合的に検討し、20人を成案としました。また、岩見沢商工会議所から18人とする要望がありましたが、これをそのまま受け入れたものではありません。過去3回の選挙では、新人立候補者20人のうち14人が当選しています。多様な人材が議会に参画いただくためには、定数だけでなく、会社員や子育て中の方など、志を持つ人が議員を目指し立候補しやすい環境を整えることが重要です。今後も議会機能の充実と、開かれた議会づくりに努めてまいりますので、生まれ変わる岩見沢市議会をどうぞよろしくお願いします。

議長 峯 泰 教

議会日誌

- 7月 1日 ・くりさわ学舎（前期課程）議場見学
- 9日 ・民生常任委員会
- 10日 ・総務常任委員会 ・意見交換会
- 16日 ・経済建設常任委員会
- 17日 ・各派代表者会議
- 29日 ・経済建設常任委員会
- 30日 ・幹事長会議 ・議会運営委員会
- 8月 21日 ・各派代表者会議
- 24日 ・主権者共育（明成中）
- 25日 ・総務常任委員会
- 26日 ・経済建設常任委員会
- 9月 1日 ・各派代表者会議
- 4日 ・議会運営委員会
- 7日 ・第3回定例会（第1号） ・議会運営委員会
・林活議連役員会 ・広報広聴委員会
- 11日 ・第3回定例会（第2号）
- 14日 ・第3回定例会（第3号）
- 15日 ・議会運営委員会 ・第3回定例会（第4号）
・決算審査特別委員会
- 16日 ・総務常任委員会 ・民生常任委員会
・経済建設常任委員会
- 18日 ・議会運営委員会 ・第3回定例会（第5号）
・広報広聴委員会
- 29日 ・経済建設常任委員会他都市調査（10月1日まで）

FMはまなすに出演



9月9日（水）にFMはまなすの「ひろむのちょこまかエクスプレス」に木村議員、野尻議員が出演させていただきました。広報活動として、第3回定例会（9月開催）のご案内と市議会の活動についてお話をいただきました。

岩見沢商工会議所青年部の皆さんと 意見交換会を実施しました！



7月10日（金）、岩見沢商工会議所青年部から12名の方が市議会にお越しいただき、意見交換会を開催いたしました。今年度よりスタートしました各団体との意見交換会の第2回目となります。お互いの活動について、そして市議会からは役割についても説明し、相互理解を深めました。また、市

議会をより身近に感じて頂くため、議場見学やバックヤードツアーも実施いたしました。

後半はグループに分かれ意見交換を実施。アイスブレイクでは、参加者のそれぞれが思う岩見沢の良い所を共有し、和やかな雰囲気での交流できました。ディスカッションでは「選ばれる岩見沢へ。人が集まり、企業が育つまちづくり」をテーマに、住みたいまち、働きたいまちの理想と現実について意見を出し合い、共に考える良い機会となりました。お忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。



表紙デザインが新しくなりました！



今号の議会だより「議会かわら版」より、タイトルデザインを一新いたしました。
より見やすく、多くの皆さまが手にとっていただけるよう、今後も掲載内容、デザイン等について検討してまいります。皆様のご意見、ご感想を是非お聞かせください。



—今号の表紙—

明成中学校のみなさんが議場へ！

今年度も、市内9校（中学校8校、義務教育学校1校）を対象とした主権者共育がスタートいたしました。

トップバッターは明成中学校のみなさんでした。

「市民との意見交換会」を 開催いたします！

市民との意見交換会！

ギカイ DE トーク

みんなて話そう！まちのミラノ

トークテーマ

住みつづけたいまちとは？ 助け合える地域とは？

地域コミュニティ、防災など

令和8年11月26日(木)

18:30 ~ 20:00 (終了予定)

受付 17:50~

会場 岩見沢市役所 4階 委員会室

対象 定員 40名

どなたでも参加いただけます

参加ご希望の方は事前申し込みをお願いします

お申し込みはこちら

議場見学
できます！
(18:15まで)

岩見沢市議会

お問い合わせ先 岩見沢市議会事務局 ☎ 0126-35-4907



どなたでも
ご参加いただけます



開催日時 11月26日(木)
18:30~20:00
*受付17:50~
場所 岩見沢市役所 4階 委員会室

詳しくは、二次元バーコードを読み取りご確認ください。
多くの皆さまのご参加、お待ちしております。

次回定例会は

12月予定

YouTube



Facebook



「議会かわら版」をカラーで
見るができます→



岩見沢市議会だより 議会かわら版
＜発行＞ 岩見沢市議会
＜編集＞ 議会広報広聴委員会
☎ 0126-35-4907